

平成24年度

# 志願者の手引き

全日制課程

 愛媛県立新居浜工業高等学校

〒792-0004

愛媛県新居浜市北新町8番1号

TEL (0897) 37-2029

FAX (0897) 37-6440

# 1 新居浜工業高等学校を目指すみなさんへ

現在、製造技術のシステム化等の技術革新が進む中、環境に配慮し、ものづくりに創意工夫を生かす実践的な技術者が望まれています。また、高度情報通信社会の中で、システムの設計・管理やマルチメディア等に関する基礎的な知識・技術も要求されます。

本校ではこうした産業界の現状を直視し、第一線で活躍する実践的技術者の育成、及び工業の各分野へ進出するスペシャリストの育成を目指して、工業教育を推進しています。

## 本校の特色

- (1) 機械科、電子機械科、電気科、情報電子科、環境化学科の五つの学科があります。
- (2) 各科では、産業界における実践的技術者・スペシャリストの育成を目指し、ものづくりを通じた特色ある専門教育を進めています。
  - ・少人数による実験や実習に力を入れ、主体的に取り組める体験的な授業を行っています。
  - ・充実した施設・設備を活用し、多数の指導者による行き届いた授業を行っています。
  - ・すべての学科において、コンピュータを使用した情報教育を行っています。
  - ・実社会で役立つ、国家試験等の資格の取得を奨励し、指導しています。
  - ・福祉教育、環境教育、国際理解に力を入れています。
- (3) 教養豊かな人間形成を目指すため、普通教科の学習を重視しています。
- (4) 高校生活が充実するよう、部活動の充実に努めており、各部とも目覚ましい成果を収めています。
- (5) 就職はもちろんのこと、推薦入学等による進学にも力を入れ、生徒が希望する進路の保障に努めています。

自分の将来を考えて、適性に合った学科を選択することが大切です

## 2 募集人員

小学科 課程	機 械 科	電 子 機 械 科	電 気 科	情 報 電 子 科	環 境 化 学 科	合 計
全 日 制	40名	40名	40名	40名	40名	200名

### 3 工業科(小)学科の紹介

#### 《 機 械 科 》

機械はすべての工業の基幹であり、機械設備のない工場や機械工作技術を必要としない生産工場はありません。最近の工業技術の進歩は目覚ましく、コンピュータと機械技術をマッチさせたメカトロニクスは急速な発展をしていますが、その技術であっても機械に関する基礎・基本の積み重ねで構成されています。

機械科では、工業に関する基礎・基本から最先端までの幅広い知識や技術を、教室内で学習するだけでなく、実習等の体験を通して総合的に身に付けています。

#### 《 電子機械科 》

機械・電子・情報の融合したメカトロニクス技術は、時計・カメラ・エアコンなどの一般家庭用品から、各種の産業用機械・事務用機械・自動車などに広く利用されています。現在も次々と新しい技術が開発され、今後の発展は計り知れません。このメカトロニクス技術を習得した技術者は、広く社会で必要とされています。

このような社会の要請にこたえて、実習を中核とし、メカトロニクス技術分野に関する基礎的な知識と技術を総合的に身に付ける学習をします。

#### 《 電 気 科 》

電気は、熱・光・音・映像・情報等いろいろな形に変化して使われており、私たちの生活や産業に不可欠です。これからも、電気は社会全般から一段と期待が寄せられ、なくてはならない存在になっていきます。

電気科は、電気の発生から送電、使用するまでの基礎的・基本的な知識・技術を習得し、将来、電気・電子・情報に関連する分野で活躍するために必要な能力と人材を育成する学科です。

#### 《 情報電子科 》

私たちが営む社会生活では、行政・金融・流通・運輸・交通・教育・医療・各種サービス機関など、情報システムの存在は欠かせない技術となっており、コンピュータを使うことが当たり前になってきました。これらで扱うデータはプログラムによって「制御」されており、接続された装置や機器によってその動きが視覚化されています。

情報電子科では、この「制御」の技術をハードウェアとソフトウェアの分野で、電気・電子・情報・通信の面からそれぞれ学習します。

#### 《 環境化学科 》

最近、話題になっている環境問題に対処するためには、汚染の実態を把握することが先決です。各種の分析装置を用いて、大気・水質・土壌の調査を行い、汚染の原因を究明し、特に、微生物を利用した環境改善活動を行うなど、社会に貢献できる知識を身に付けます。

また、環境教育だけでなく、化学工業製品がどんな製造工程を経て、どんな化学反応によって作られるかについても学びます。実験・実習を中心に技術・知識の習得に励み、化学系の製造部門で活躍できる人材の育成を目指しています。

## 4 納入金 (平成23年度実績)

### (1) 入学時

入学金(県納入分)	5,650円
P T A 入会金	1,000円
生徒会入会金	1,000円
教材費	27,350円
4月分校納金	5,000円
合計	40,000円

### (2) 5月以降

P T A 会費	720円
生徒会費	410円
文化・体育後援費	570円
学級費	2,550円
教育振興会費	750円
合計	5,000円

**備考** このほかに教科書・体育用具・実習服・製図器等の購入費として、80,000円～90,000円程度が必要です。

## 5 奨学生制度

学費支弁困難な者に対する奨学資金制度は下記のとおりです。(なお、一部金額の変更があるかもしれません。)

種 別	愛 媛 県 奨 学 資 金	交 通 遺 児 育 英 会 奨 学 金
貸与月額	18,000円	20,000円～40,000円

## 6 制服について

本校は、現在特色ある学校づくりに向けて様々な新しい取組を行い、地域の皆様に学校の特色・新鮮さをアピールする活動をしております。その一環として、平成19年度新入学生から、これまでの男子の黒色のつめ襟、女子の黒色スーツから、ブレザータイプの制服へ改定しました。

なお、今年の価格は、冬服一式(男子) 51,170円 (女子) 52,430円 夏服一式(男子) 15,120円 (女子) 16,380円でした。